

シマムセンオーディオ試聴会 (2021.11.28)

—アキュフェーズ新製品試聴会—

1. はじめに

シマムセンで開催されアキュフェーズの新製品試聴会に行ってきました。

2. 使用機器等

開催要項は、下記のとおりで11月28日(日) 第①部に参加しました。

日時	第①部 13:00~15:00[試聴モデル]・E-5000 C-2900・DP/DC-1000 講師：Accuphase 担当者
場所	CYMA 新試聴室 (シマムセン別館)
内容	Accuphase 創業50周年記念モデルをはじめとする新製品各種を B&W の新製品スピーカー801D4 で試聴

**創設50周年記念モデル**

 <b>新製品</b> <b>DP-1000</b> プレジジョン SA-CDトランスポート ¥1,375,000 <small>(税込)</small>	 <b>新製品</b> <b>DC-1000</b> プレジジョン MDSD デジタルプロセッサー ¥1,375,000 <small>(税込)</small>
 <b>新製品</b> <b>C-2900</b> プレジジョン プリアンプ ¥1,430,000 <small>(税込)</small>	<p style="text-align: center;">— スピーカー —</p> <p style="text-align: center;">Bowers &amp; Wilkins</p>  <b>新製品</b> <b>801D4</b> ¥5,456,000 <small>(税込)</small>
 <b>新製品</b> <b>E-5000</b> プレジジョン プリメインアンプ ¥990,000 <small>(税込)</small>	



当日のセッティング

### 3. 試聴の経過

遅れて参加し、後半中座もしましたので、すべてのデモを聴けませんでした。

試聴場所は、CYMA の新試聴室で音響パネルなどの配慮がされており、癖のない環境のように感じました。

機器の解説を挟みながらの音出しがありました。解説ではアキュフェーズのヴォリュームに関するコア技術である、バランス AAVC の詳しい説明がありました。前半は、新製品の E-5000 での音出し、後半は新製品の C-2900 と P-7300 の組み合わせでの音出しでした。ソフトの再生系は、新製品の DP-1000 と DC-1000 の組み合わせです。

前半の E-5000 では、菅野録音の Jazz のピアノトリオ、シューベルトの鱒、テレサ・テンなどが聴けました。

いずれもクリーンで透明度の高いアキュフェーズらしい音でした。しかし、Jazz のピアノは、ベーゼンドルファーか、スタンウェイか、ヤマハかは判別しにくく、菅野録音でよく使われるベーゼンドルファーよりヤマハに近い音でした。同じくシューベルトの鱒でもおそらく田部京子のピアノはスタンウェイと思われそうですが、判然としませんでした。テレサ・テンも行儀のよい歌唱です。また、シューベルトの鱒ではコントラバスが、ぼやけ気味でピアノ 5 重奏の立体感が不足しており、これらは E-5000 からパイワイアリング接続されているスピーカーの問題だと思われます。E-5000 には、DAC などのオプションボードが準備されているとのこと。後半の C-2900 と P-7300 の組み合わせでの音出しで、女性ボーカル、庄司沙也加の春のソナタ、日本の女性ボーカルなどと続きましたが、E-5000 と違ってパワー感と解像度も向上し、庄司沙也加のストラディヴァリウスもそれらしい音にな

り、女性ボーカルの表情も豊かに表現されてきましたが、ともに立体感が不足し、音像が大きくなる印象で、スピーカーの問題と思われます。

#### 4. まとめ

アキュフェーズの新製品を取り揃えた試聴会ということで期待を持ってでかけましたが、クリーンで透明度の高い音を聴かせてくれたものの、立体的な実在感には届かない面があり、これも新製品である B&W 801 D4 の問題もあろうかと推察されました。

以上